

令和4年度 北秋田市総合戦略検証会議 検証会議委員による意見・提言集

参考資料

- ・第2次北秋田市総合計画・北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標値達成状況（令和3年度版）
- ・令和4年度北秋田市総合戦略検証会議検証シート（地方創生関係交付金事業）

令和4年度 北秋田市総合戦略検証会議による意見・提言

〈北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略〉

戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり

- ・地元雇用について、令和3年3月の高卒あたりから地元の就職志向が高まってきているがコロナが落ち着いてきたので県外就職希望者が増えてくるかもしれない。その中で目標値を達成するのは難しいと思われるのでハローワーク等も活用して地元雇用に対する取組を進めてもらいたい。
- ・新規進出企業に関する件について、今後の企業誘致の取組を進めて行く上では真に地域に根差した、地元の雇用が図れるような企業に来てもらえるようにしてもらいたい。

戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進

- ・北秋田市に移住された方の世帯・人数が記載されているが、地域ごと（鷹巣・合川・森吉・阿仁）の数を示した方が詳細な傾向が把握できるのでお願いしたい。
- ・「移住定住相談者数」の実績を見ると相談数が多く、職員の負担がかなり大きいと思われるので職員数の増員やもっと地域おこし協力隊と協力して業務に当たるなどしてもらいたい。
- ・「オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数」は戦略4ではなく、戦略2に組み込むべきではないか。
- ・移住関連について、阿仁地域へ移住される方の傾向として大阿仁地域へ移住されるのはマタギになりたい方で若い方が多く、阿仁合地域は30~40代で子供がいる方が移住されている。鷹巣地域では仕事や親のところに帰るといふことが多いように思う。地域によって移住者の傾向が異なることからデータを分析して施策の取組へ活かしてもらいたい。
- ・移住者数を把握する上で、3年以内に市を離れた移住者数の把握もしていただきたい。
- ・移住定住に関する件について、お盆と年末年始の帰省時に移住定住支援室とハローワークが連携して相談会を行っているが、そのことについての検証も行ってもらいたい。

戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進

- ・育児休暇、育児休業の取得に関して、指標は市役所職員が対象となっているが、民間企業の状況も把握しながら支援等につなげていけないか。
- ・子育て世代の捉え方が幅広いため、未就学児・小・中・高など子供の年代での数値が把握できれば、どの年代での対策が必要かより鮮明になると思う。北秋田市も含めて全国的にも未就学児への支援は良いのだが、小・中・高への支援は弱いと感じている。生産年齢人口に入る方々の悩みを解消する道筋を具体化することで様々な対策へつなげることができると思う。子育てをする上で、未就学児よりも小・中・高などの学生がいる方の不安が解消されると定住にもつながると思う。
- ・障害には様々な種類や内容・程度があるが、発達障害の理解が進むような取組をしてもらいたい。

戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成

- ・雪事業について、2025年には75歳以上の団塊の世代の高齢者が急激に増加すると見込まれており、現

在よりも身寄りのない方が増加することが予想される。阿仁地区では近隣とのつながりがあり協力を得られると思うが、鷹巣地域では他の地域よりもつながりが希薄であるため、自身で対応しなければならない方が多いと思われる。

また、働き方改革によって今まではシルバー人材センターへ登録をしていた年齢の方も仕事を行っている状況であるため登録者数も増える状況ではない。そのような状況下で雪事業に対する地域支援が重要となってくると思われるため、各地域（鷹巣・合川・森吉・阿仁）で、活動組織をどれくらい増やしていったらよいのかという観点で示してもらった方がよい。

- ・デマンド型乗合タクシーについて、仕事柄免許返納の相談を受けることもあるが、この制度について知らない方が多いため定期的な周知が必要である。周知が進めば免許返納される方も増加すると思う。
- ・テレワーク（ワーケーション）について、「がっこステーション」では定期的に移住者の方がテレワークを行っているが、今後本格的に進めるに当たって場所が狭いということもある。閉校となる大阿仁小学校の活用策も検討してもらいたい。
- ・テレワーク（ワーケーション）に関する指標について、事業者を受け入れることが主体なのか、事業者が実施することが主体なのか不明瞭であるため定義をはっきりした方がよい。
- ・市営住宅について移住者枠を作ってもらうことはできないか。阿仁地域で困っていることは移住者の住める住居が少ないことなので、市全体の課題として検討してもらいたい。
- ・移住者が居住するにあたって水回り（台所、トイレ、風呂など）が重要となるため、今後は市営住宅の水回りのリフォームも考えながら進めてもらいたい。

<北秋田市総合計画>

基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり

特段なし

基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり

- ・要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者の割合について、前期高齢者が介護認定を受けている場合は、がん末期あるいは若年性認知症という方で、そのような方たちの体力の低下を防ぐ下地作りということが必要だと思うが、あわせて認知症予防やがん検診というものを絡めた形の取組を行ってほしい。
- ・秋田県は他県に比べて特別支援教育について曖昧である。そのことから特別支援学校に入ってくる子、特別支援学級で学ぶ子、通常学級で学ぶ子の線引きが非常に曖昧である。その結果、例えば特別支援学校の高等部を卒業しても高校卒業認定を受けられないということは知られていない。そうになると一般就労も難しくなる。特別支援学級で学べるはずの子も特別支援学校に入学してくるので障がいの軽い子や能力の高い子らによる就職の奪い合いとなってしまっている。それに加えて北秋田市には自宅から通える就労施設が少ない。大館市にはあるが送迎が必要となるので親の離職率が高くなってしまいうという悪循環に陥っている。そのような現状を市民にも知っていただく必要があるのと、他県の状況や取組も踏まえながら数値を確認する必要があると考える。

基本理念3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり

特段なし

基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり

特段なし

基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり

- ・ SNS のフォロワー数について、Instagram、facebook、twitter それぞれの SNS で使用しているユーザーや年代層が異なる。情報発信をする上でも戦略的に行う必要があるため個々で数値を出して傾向を分析する必要がある。
- ・ マイナンバーカードを利用した電子申請の手続きの仕方が現時点では不明瞭なので、市から情報を出す場合には、市民に対して分かりやすい説明をしてもらいたい。

<その他>

- ・ 総合戦略の「(7) 新しい人の流れの創出」にマタギに関する記述があるが、マタギの人数が把握されていないと思うので把握してもらいたい。
- ・ 実績値が目標値を上回っている場合は、どの取組においても目標値を上方修正して取組を強化していったらよいと思う。
- ・ 移住を進めるに当たって、移住に関する施策が少ないのもっと細分化して緻密に取り組む必要があると考える。
- ・ 近頃イノシシやシカが出るようになってきている。本市は、獣害が全国的な問題になっている中で、イノシシやシカが入ってきていない非常に珍しい地域なので、早く手を打たないと豊かな自然の保全という市の根本的な理念が失われてしまうことになる。今から対策を行うことで日本の獣害に対する新たなアプローチにつながると思うので真剣に考えてもらいたい。

<地方創生関係交付金事業について>

◇「地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業」

- ・ 今は、旅行の情報の大部分を SNS で得ていることから改めて市の SNS を見返したところ、地域の話は定期的に更新しているが、より細かい投稿のアプローチが少ないと感じた。Instagram では、他者が載せているものはあるが、市が載せているものが少ないため、積極的に推しているものなどを投稿していくことが必要だと思う。北秋田市で当たり前のものでも他では魅力的に映るものがあるので投稿の仕方のアプローチを工夫したらよいと感じた。

◇「北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業」

- ・ どぶろくの生産量を増やして認知度を高めて販売につなげる必要があると思う。生産拡大を検討してもらいたい。
- ・ 通過型観光から滞在型観光への転換を図るのであれば、日帰り客数だけでなく宿泊者数のデータから分析する必要がある。

- ・情報発信の仕方が国内向けか海外向けかで変わってくる。国内での日本酒消費量は減少しているが、どのような人へどのように情報発信するのが重要になってくる。どぶろくは北秋田市が誇れるものなのでブランディングを行うことでKPIの実績が大きく変わると思う。
- ・担当温泉のスタッフは非常に頑張っていて、どぶろくもスタッフが作っている。市がどぶろくを重要なものに位置付けているのであれば、どぶろく製造と宿泊に従事するスタッフを分けて雇用するなど、スタッフの負担を減らすことを考えないと長続きしないと感じている。
- ・慢性的な人手不足はどこでもあると思うが、人員がいないとできない事業なので検討は必要と考える。
- ・どぶろくを作る量を増やせばコスト削減には繋がるが、そのためには人員が必要となる。働いている人は高齢化しているので新しい人を入れたいが難しい状況である。そのことを市にお願いするのは交付金事業の趣旨とは違うと思うが、市が協力することで効率性の評価は改善できると思う。

◇「秋田内陸線阿仁合駅観光拠点施設整備事業」

- ・阿仁合駅の改修は本当に効果が大いと思っている。改修されてからは団体でも入れるようになったのでありがたかった。訪日外国人団体数も順調に伸びていたが、コロナの影響を受けてしまった。コロナ前の状況に戻るよう協力していきたい。
- ・観光拠点としての阿仁合駅舎の改修の意義は大いと感じている。コロナ前は外国人客が新幹線で角館まで来て、そこから内陸線を利用して阿仁合まで来ていた。阿仁合までは来るがそこから鷹巣までどのようにして来てもらうようにするかが課題である。観光客を呼び込むための具体的な方策を官民一体で考えなければならない。
- ・鷹巣駅前に滞留できる施設、アルコールを購入できる店がない。小さくてもよいので観光客が滞留できる施設の整備を検討してもらいたい。

◇「森吉山ウェルカムステーション整備事業」

- ・ウェルカムステーションはWi-Fiがあって仕事ができる環境なのでワーキングスペースになるということをもっと周知することと、2階への上り口が分かりづらいので分かりやすい案内を行う必要がある。
- ・Wi-Fiがあるだけで外国人、学生、テレワーカーが来るようなホットスポットになるのでWi-Fiがあることを周知するべきである。
- ・ウェルカムステーションには来るが、そこからの動きが分からないので、来訪者の駅からの動きも分析していく必要があると思う。
- ・森吉山や周辺エリアへのアクセスポイントとしての役割と森吉山を含む地域の情報発信の基地というもの以外でも活用できるようにすることが必要と考える。

◇「交付金事業検証全般について」

- ・交付金事業の検証にあたって検証シートの記載内容が事業内容と数字だけになっているのでせめて携わっている現場からの声を検証シートに反映させてもらえると評価しやすい。

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

総合戦略						
戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
1	I 新規就農者数【累計】	農林課農業振興係	26人	18人	B	69.2%
2	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】	商工観光課商工労働係	90人	97人	A	107.8%
3	1 担い手への農地集積率【累計】	農林課農業振興係	82.3%	83.3%	A	101.2%
4	3 主な園芸作物販売額（主要6品目）【累計】	農林課農業振興係	376百万円	259百万円	B	68.9%
5	4 比内地鶏飼養羽数【累計】	農林課農業振興係	95,800羽	73,240羽	B	76.5%
6	1 林業就業者数【累計】	農林課林業振興係	178人	173人	A	97.2%
7	2 造林面積（新植を除く）【累計】	農林課林業振興係	1,178ha	1,082ha	A	91.9%
8	3 再造林面積（新植）	農林課林業振興係	33.0%	15.7%	D	47.6%
9	4 路網延長（林道及び林業専用道等）【累計】	農林課林業振興係	7.96m/ha	8.18m/ha	A	102.8%
10	1 起業・創業者数【累計】	商工観光課商工労働係	6人	7人	A	116.7%
11	2 新規出店者数（賑わい再生支援事業）【累計】	商工観光課商工労働係	4件	9件	A	225.0%
12	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】	商工観光課商工労働係	98件	98件	A	100.0%
13	4 アンテナショップの取扱商品数	商工観光課商工労働係	160商品	111商品	B	69.4%
14	1 森吉山県立自然公園入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	62,000人	56,690人	A	91.4%
15	2 歴史文化施設・祭り入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	40,800人	30,824人	B	75.5%
16	3 北秋田市宿泊施設売上推計額（推定単価×宿泊者数）	商工観光課観光振興係	465百万円	387百万円	A	83.2%
17	4 訪日外国人宿泊客数（延べ宿泊者数）	商工観光課観光振興係	3,100人	10人	D	0.3%
18	5 道の駅等売上推計額（推定単価×利用者数）	商工観光課観光振興係	292百万円	141百万円	D	48.3%
19	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数	商工観光課商工労働係	48人	48人	A	100.0%
20	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】	商工観光課商工労働係	5件	7件	A	140.0%
21	4 新規進出事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	4事業所	4事業所	A	100.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	61.9%	(13/21)	
戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
22	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】	総合政策課移住定住支援室	203世帯260人	212世帯296人	A	113.8%
23	2 移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	657人	584人	A	88.9%
24	3 体験移住参加者数【累計】（ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む）	総合政策課移住定住支援室	286人	367人	A	128.3%
25	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	223人	255人	A	114.3%
26	1 友好交流都市との交流事業数【累計】	総合政策課政策係	11事業	12事業	A	109.1%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	100.0%	(5/5)	
戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
27	I 出生数【単年】	福祉課こども福祉係	93人	89人	A	95.7%
28	II 婚姻数【単年】	総合政策課移住定住支援室	89組	57組	B	64.0%
29	2 出生数に占める低出生体重児の割合	医療健康課健康推進係	7.0%	9.0%	B	77.8%
30	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合	医療健康課健康推進係	82.0%	77.1%	A	94.0%
31	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合	福祉課こども福祉係	65.0%	64.2%	A	98.8%
32	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合	福祉課こども福祉係	75.0%	66.7%	A	88.9%
33	1 市の審議会、委員会等の女性参画率	生活課地域推進係	27.0%	27.2%	A	100.7%
34	2 市役所における女性管理職員の割合（各年度4月1日現在）	総務課総務係	30.0%	21.3%	B	71.0%
35	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合	生活課地域推進係	30.0%	24.6%	A	82.0%
36	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	100.0%	50.0%	C	50.0%
37	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	50.0%	21.4%	D	42.8%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	54.5%	(6/11)	

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
38	1 地域が住みやすいという市民の割合【単年】	生活課地域推進係	78.5%	71.4%	A	91.0%
39	2 活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合	生活課地域推進係	74.5%	59.6%	A	80.0%
40	3 地域活動に何か参加している市民の割合	生活課地域推進係	75.0%	63.7%	A	84.9%
41	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均-3.0%	A	94.2%
42	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均-7.5%	A	87.9%
43	3 県学習状況調査における正答率	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均±0.0%	A	99.9%
44	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合	学校教育課義務教育係	70.0%以上	34.6%以上	D	49.4%
45	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査（コムコム含む）	生涯学習課生涯学習係	90.0%	84.5%	A	93.9%
46	2 自主講座への移行数【R3～R7年度毎の移行数の合計】	生涯学習課生涯学習係	24講座	23講座	A	95.8%
47	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合	生涯学習課生涯学習係	60.0%	63.5%	A	105.8%
48	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査	生涯学習課生涯学習係	90.0%	100.0%	A	111.1%
49	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】	生涯学習課生涯学習係	49,000人	48,140人	A	98.2%
50	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成	生涯学習課生涯学習係	12箇所	0箇所	D	0.0%
51	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】	都市計画課都市計画住宅係	84.0%	52.9%	B	63.0%
52	2 公営住宅等の入居率（入居戸数/全戸数）【累計】	都市計画課都市計画住宅係	84.0%	82.6%	A	98.3%
53	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合	総務課危機管理係	93.3%	87.5%	A	93.8%
54	4 住宅耐震化率【累計】	都市計画課都市計画住宅係	67.0%	64.4%	A	96.1%
55	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】	都市計画課都市計画住宅係	3箇所	2箇所	B	66.7%
56	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合	財政課地籍調査室	45.0%	45.0%	A	100.0%
57	1 自宅の除雪について特に困っていることがない市民の割合	建設課管理係	25.8%	20.8%	A	80.6%
58	2 自治会や近所の人と協力して（間口や）道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	48.6%	35.1%	B	72.2%
59	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数	高齢福祉課高齢福祉係	7団体	5団体	B	71.4%
60	1 秋田内陸線の乗車人数	内陸線再生支援室	264,000人	177,192人	B	67.1%
61	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数	総合政策課政策係	131,000人	122,254人	A	93.3%
62	3 大館能代空港利用者数	総合政策課政策係	207,740人	45,346人	D	21.8%
63	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合	総務課危機管理係	68.4%	58.2%	A	85.1%
64	2 防災情報メール登録者数【累計】	総務課危機管理係	1,845人	1,731人	A	93.8%
65	3 自主防災組織の結成数【累計】	総務課危機管理係	48団体	45団体	A	93.8%
66	4 防災ラジオ配布割合	総務課危機管理係	90.1%	74.3%	A	82.5%
67	5 河川環境の整備【累計】	建設課工務係	3河川	3河川	A	100.0%
68	1 北秋田市でテレワーク（ワーケーション）に取り組む経費を助成する件数【累計】	商工観光課商工労働係	2件	0件	D	0.0%
69	2 オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	45人	98人	A	217.8%

<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60～79% (C) 50～59% (D) 50%未満

目標達成項目（80%以上）	71.9%	(23/32)
総合戦略合計（80%以上）	68.1%	(47/69)

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

総合計画						
基本理念1	健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
70	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	医療健康課地域医療対策室	63.0%	56.8%	A	90.2%
71	2 市民病院の常勤医師数（※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数）	医療健康課地域医療対策室	24.0人	23.0人	A	95.8%
72	3 北秋田市民病院満足度（職員への対応）	医療健康課地域医療対策室	96.0%	97.2%	A	101.3%
73	1 健康受診率（特定検診）	医療健康課健康推進係	40.0%	36.7%	A	91.8%
74	2 がん検診受診率（5大がん検診受診率の平均、全対象に対する率）	医療健康課健康推進係	25.0%	9.1%	D	36.4%
75	3 メタボリックシンドロームとその予備群の割合	医療健康課健康推進係	10.0%	9.5%	A	105.3%
76	4 自分のことを健康だと思う市民の割合	医療健康課健康推進係	70.0%	68.3%	A	97.6%
77	5 健康診断を受けている市民の割合	医療健康課健康推進係	30.0%	23.0%	B	76.7%
78	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数	医療健康課健康推進係	100人	99人	A	99.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	77.8%	(7/9)	
基本理念2	お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
79	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	77人	59人	B	76.6%
80	2 ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	67人	47人	B	70.1%
81	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	福祉課地域障がい福祉係	91.8%	86.1%	A	93.8%
82	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合	高齢福祉課介護保険係	68.0%	66.3%	A	97.5%
83	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合	高齢福祉課介護保険係	97.0%	96.3%	A	99.3%
84	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	5.0%	11.8%	D	42.4%
85	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	36.5%	39.3%	A	92.9%
86	1 福祉施設入所者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	122人	130人	A	93.8%
87	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	16人	9人	C	56.3%
88	3 福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数	福祉課地域障がい福祉係	A型5人 B型8人	A型5人 B型10人	A	114.0%
89	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	6人	3人	C	50.0%
90	5 公共施設バリアフリー率【累計】	福祉課地域障がい福祉係	24.5%	24.7%	A	100.8%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	58.3%	(7/12)	
基本理念3	命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
91	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	50.0%	31.9%	B	63.8%
92	2 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	5.0%	2.5%	C	50.0%
93	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数	生涯学習課世界遺産推進係	1人	0人	D	0.0%
94	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	8.0%	4.2%	C	52.5%
95	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合	生涯学習課文化係	20.0%	52.9%	A	264.5%
96	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	35.0%	16.2%	D	46.3%
97	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合	生涯学習課文化係	20.0%	36.0%	A	180.0%
98	1 運動・スポーツに対する満足度	スポーツ振興課スポーツ係	70.0%	57.0%	A	81.4%
99	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合	スポーツ振興課スポーツ係	50.0%	39.6%	B	79.2%
100	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	延べ500名 5団体	0名 0団体	D	0.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	30.0%	(3/10)	

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
101	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量	生活課環境係	642.8g/人・日	689g/人・日	A	93.3%
102	2 総資源化率（リサイクル率）	生活課環境係	15.4%	15.1%	A	98.1%
103	3 不法投案件数	生活課環境係	40件	112件	D	35.7%
104	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合	生活課環境係	32.7%	27.6%	A	84.4%
105	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合（冷暖房の温度設定の調整）	生活課環境係	60.9%	52.2%	A	85.7%
106	2 公共施設（市直営施設）におけるCO2排出量	生活課環境係	12,796t-CO2	10,895t-CO2	A	117.4%
107	1 市道の改良率【累計】	建設課工務係	78.8%	78.2%	A	99.2%
108	2 市道の舗装率【累計】	建設課工務係	72.7%	71.6%	A	98.5%
109	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】	建設課工務係	77.9%	75.1%	A	96.4%
110	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】	建設課工務係	9橋	9橋	A	100.0%
111	1 水洗化率【累計】	都市計画課下水道係	87.1%	80.3%	A	92.2%
112	2 経費回収率	都市計画課下水道係	90.0%	90.9%	A	101.0%
113	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】	都市計画課下水道係	1,124基	1,090基	A	97.0%
114	1 有収率	水道課管理係	75.0%	71.2%	A	94.9%
115	2 収納率	水道課経営係	99.0%	99.5%	A	100.5%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	93.3%	(14/15)	
基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
116	1 救命講習会を受講したことがある市民の割合	消防本部	60.0%	53.6%	A	89.3%
117	2 住宅用火災報警器の設置率	消防本部	95.0%	89.6%	A	94.3%
118	3 救急救命士数	消防本部	30人	26人	A	86.7%
119	4 消防団充足率	消防本部	90.0%	93.8%	A	104.2%
120	5 消防団協力事業所数【累計】	消防本部	6事業所	8事業所	A	133.3%
121	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】	生活課地域推進係	80人	63人	B	78.8%
122	2 年間の交通事故件数（人身事故件数）	生活課地域推進係	35件	13件	A	269.2%
123	3 交通事故死者数	生活課地域推進係	0人	1人	-	-
124	4 犯罪件数（刑法犯認知件数）	生活課地域推進係	40件	57件	B	70.2%
125	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数	生活課地域推進係	174人	146人	A	83.9%
126	1 職員数（各年度4月1日現在）	総務課総務係	464人	463人	A	99.8%
127	2 実質公債費比率	財政課財政係	11.1%	9.2%	A	120.7%
128	3 将来負担比率	財政課財政係	85.0%	51.7%	A	164.4%
129	4 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率	総務課総務係	98.7%	99.0%	A	100.3%
130	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合	総務課総務係	60.4%	56.6%	A	93.7%
131	6 ホームページの年間アクセス数	総合政策課広報係	632,000件	787,159件	A	124.6%
132	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合	総合政策課広報係	98.0%	92.6%	A	94.5%
133	8 SNSへのフォロワー数（twitter等）	総合政策課広報係	2,336件	3,955件	A	169.3%
134	9 電子申請届出サービスの利用の拡大	財政課デジタル推進係	2件	0件	D	0.0%
135	10 RPAを導入する業務数	総合政策課政策係	2業務	1業務	C	50.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	75.0%	(15/20)	
			総合計画合計 (80%以上)	69.7%	(46/66)	

※単年度の実績がない項目は対象外としています。

令和4年度 北秋田市総合戦略検証会議検証シート
(地方創生関係交付金事業)

1. 地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業
2. 北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業
3. 「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業
4. 森吉山ウェルカムステーション整備事業

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
交付金種別	地方創生推進交付金	
事業目的(一覧表F列)	平成29年11月に日本版DMO法人として登録された『一般社団法人秋田犬ツーリズム』を中心とし、市町村の枠を超えた連携を通じて稼げる観光地域づくりを進めている。プロモーションの中心に秋田犬を据えた取り組みを進めた結果、外国人旅行者が増加傾向にあることから、当地域の目的地としてのポテンシャルは高く、今後も外国人旅行者の増加による経済効果が十分に見込めることから、従来のターゲットである台湾へのアプローチは続けつつ、「秋田犬」という強力なキラーコンテンツを活用して世界中の動物好きへのアプローチを積極的に進め、来訪者、とりわけインバウンドの増加につなげる。また、体験・ストーリーを重視する欧米からの富裕層の個人旅行者、アジアの先進地域からの富裕層を明確にターゲットに加えるとともに縄文犬としての秋田犬、マタギという狩猟文化やそれにまつわる食文化を前面にだした芸能・体験・食を提供し当地への来訪を目指す。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 32,745,644円	交付金実績額(入力シートE列) 15,144,726円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	旅行消費額(百万円)
②	訪日外国人宿泊者数(千人)
③	延べ宿泊者数(千人)
④	観光振興事業が地域に与える経済的効果(百万円)

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		36,625		40,236		48,558		54,548		60,174
		24,592		27,318		30,707		19,323		18,815
②		11		15		21		26		31
		9		10		11		2		1
③		352		385		393		399		405
		375		379		392		273		296
④		0		0		480		879		1,332
		—		—		4,125		1,931		1,931

事業の概要(一覧表BS列)

来訪者拡大に向けてRESASやSNSワードクラウドを活用して著名な観光地の誘客ターゲットや外国人旅行者の地方への周遊動向などについて、他地域との競合分析やマーケティング、情報発信を進めながら、当エリアを北海道・東北周遊ルートのひとつにしっかりと位置付けるために、体験やストーリーを重視した新商品・サービスの投入、受け入れ体制整備により、来訪者の満足度向上と滞在時間を延ばす取り組みを進める。古民家や農家民宿、歴史的建造物などでの旅行者受け入れ体制の整備を行う。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 12	有効性評価 13	効率性評価 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適切か 3

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
35	改善して継続	コロナ禍で外国人の入国が規制されている中、ターゲット国である「シンガポール・香港」に向けたオンライン配信によるPRを実施したほか、近隣のDMOと連携してのツアー造成やお土産品開発等を実施。また、移動制限解除後を見据えたガイド教育や事業者向けの研修会を開催。ECサイトではコロナ禍で観光需要が低迷する中、事業者の新たな販路拡大に大きく貢献した。今後は、引き続きプロモーションの実施及び魅力あるコンテンツの開発を行うほか、DMO職員が商品開発や旅行会社と取引ができるランドオペレーター資格を取得し、体制の強化を図ることとしている。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 12	有効性評価 13	効率性評価 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適切か 3

総合評価
35 /45

検証会議による評価
B

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	通
、く	り	ね	ど	地	討	切
最大そ	で	い	ら	が	・	、く
適委の	あ	効	あ	あ	あ	非
で効と	る	的	改	効	効	そ
果あ	る	的	も	る	効	う
る	お	お	い	す	率	は
	通	え	る	な	不	な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
交付金 種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的 (一覧表F列)	伝統的狩猟文化を有する「マタギの里」におけるマタギ体験・どぶろく提供等、特徴ある観光プランの提供や拠点整備を促進することにより、通過型観光から滞在型観光へと転換を図り、インバウンドを含めた観光誘客の増加を推進する。拠点整備が図られた場合、観光誘客の増加も推進され、それに伴い観光拠点施設における新規雇用の促進にも繋がる。これらのことによる地域経済の安定と向上、地域に活力を与えることを目的とする。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 50,058,000円	交付金実績額(入力シートE列) 23,914,715円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	本施設濁酒販売量(Q)
②	土産物・酒販店での販売(Q)
③	施設利用者数(日帰り入浴客数、マタギ資料館利用者数、宿泊者数(人))
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		400		600		800		1,000		1,200
		564		1,077		1,016		727		294
②		80		180		280		380		480
		101		415		432		352		81
③		32,000		32,475		32,950		33,425		33,900
		27,326		26,235		26,474		15,109		17,800
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
<p>本地域の特徴である「マタギ集落」文化を活かした特徴ある滞在型観光への転換を図り観光消費額の向上、周辺観光エリアへの観光誘客の促進を目指すため、醸造施設を新たに整備し、濁酒生産の強化と首都圏アンテナショップ等へ濁酒販売を行うとともに、来訪者への濁酒生産の見学体験・試飲の場ならびに醸造技術の研究・向上、商品開発の場を整備し、特徴ある滞在型観光への転換を促進する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 13	有効性評価 13	効率性評価 11
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 3
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 4
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 4

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
37	現行のまま継続	<p>コロナ禍で旅行形態が県内や隣県を対象とするマイクロツーリズムが主流となり、珍しい特徴的な土産品としての販売には苦戦し、結果として販売量と製造量が落ち込んだ。その一方で「EOサイト」や「ふるさと納税」に販路を広げ目標の達成に向け取り組んだ。今年度開催した「全国どぶろく研究大会in北秋田」では、出品した「マタギの夢」が優秀賞を受賞するなど、日々技術向上に取り組んでいるほか、工房等見学のモニターツアーで得られた参加者の意見を踏まえ、満足度向上のための磨き上げを行い、旅行需要の取り込みを進めることとしている。</p>

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 13	有効性評価 13	効率性評価 9
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 2
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 4

総合評価
35
/45

検証会議による評価
B

【検証会議 評価基準】

A かなりの効果がある
 B 相当程度の効果がある
 C あまり効果が見られない
 D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考：評価基準】

5	4	3	2	1
的り全、く、最大適、で効、あ、あ、る	切、で、あ、果、的、的、お、る	概、ね、そ、の、と、お、い、え	な、い、ち、が、あ、改、善、す、る	全、切、非、そ、あ、効、う、率、は、な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成 4-⑤ 公共交通の維持・確保	総務部内陸線再生支援室
交付金 種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的 (一覧表F列)	少子高齢化に伴う人口減少により、地域の活力が減少することが懸念されている。一方、秋田内陸線を利用する外国人団体客は年々増加傾向にあり、内陸線は秋田県を代表するインバウンド観光コンテンツの一つになっている。このため、阿仁合駅を観光拠点とすることで、北秋田市への外国人観光客の誘客を促進し、森吉山を中心とした観光産業の振興を図り、新たな雇用の創出や、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を創出する。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 127,057,510円	交付金実績額(入力シートE列) 58,207,000円
------------	--------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	秋田内陸線の阿仁合駅定期外乗降者数(人)
②	秋田内陸線の訪日外国人団体数(人)
③	秋田内陸線の阿仁合駅こぐま亭年間売上額(千円)
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		37,900		39,900		41,900		43,900		45,900
		39,582		37,353		39,012		17,114		12,216
②		10,300		12,000		13,700		15,400		17,200
		25,232		28,592		33,344		0		0
③		8,000		10,000		12,000		14,000		16,000
		8,150		17,654		13,403		8,474		7,998
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
阿仁合駅の改築及びレイアウト変更を行い、待合室(休憩所)とレストスペースを拡大する。また、秋田内陸線と森吉山周辺、さらには阿仁合の街歩きに関する観光情報を提供できるような観光案内所を整備する。また、外国人観光客のさらなる誘客につなげるために、和式トイレの洋式・バリアフリー化を行うことで、観光客の利便性満足度向上を目指す。駅舎内にある鉱山文化の代表的な食を現代風に発信しているレストラン「こぐま亭」のスペース拡大によって、外国人をはじめとする観光客の利便性向上や街歩き用の携行メニューを開発し、阿仁合地域のさらなる魅力向上を目指す。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
43	現行のまま継続	平成30年4月にリニューアルオープン後も、訪日外国人団体数及びカフェを新設した「こぐま亭」の売上額は、右肩上がりに延びていた。今後、更なる誘客の促進のため、北秋田市の観光の核である森吉山をPRするため、改修した阿仁合駅舎2階を観光拠点として強化を図っていく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価
43 /45

検証会議による評価
A

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考：評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	適
、く	り	ね	い	地	討	切
最大そ	あ	効	そ	ら	が	で
適の	る	果	の	と	あ	改
で効と	的	的	と	も	る	善
あ果お	・	お	い	い	す	率
る	適	え	る	る	な	は
						な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	森吉山ウェルカムステーション整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	総務部内陸線再生支援室
交付金 種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的 (一覧表F列)	<p>○ 現在の県立公園から国定公園への昇格に関わる活動が地元北秋田市において具体化してきている現状も踏まえ、山を目的として来訪したお客様はもちろんのこと、以外の目的で訪ねてきたお客様、さらには北秋田市をはじめとする沿線地域のすべての住民に、森吉山の魅力や価値をワンストップで感じ取ってもらえる「森吉山エリアの四季」をテーマとした「情報発信型のスペース」を秋田内陸線阿仁合駅舎内2階に整備し、森吉山一帯の観光関連情報や来訪者が必要とする情報を発信することで、沿線の観光価値を高めるとともに地域の魅力向上を目指し、観光客増と地域の観光関連事業者の収入増を図ることを目的とする。</p>	

事業費	総事業費(入力シートD列) 90,322,180円	交付金実績額(入力シートE列) 42,590,000円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	観光コンテンツの発信拡大に伴う株式会社WEBサイトアクセス数(PV)
②	整備施設(阿仁合駅舎2階)訪問者数(人/日)
③	整備施設(阿仁合駅舎2階)チャレンジショップ活用事業者数(人/団体)
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3	年度	R4
①		756,754		779,554		803,038		827,227		852,141
		770,810		866,782		823,052		838,799		—
②		0		62		67		73		79
		0		68		51		43		—
③		0		12		14		14		14
		0		6		6		6		—
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
<p>○ 森吉山の観光関連事業者が提供する様々なコンテンツを情報提供する。 ○ 内容は各個別事業者の取り扱いコンテンツの体験(購入)意欲の喚起に結びつくものとし、整備施設来訪者への提供のみならず会社の既存WEBサイト上での誘客コンテンツとしても活用する(多言語対応:英・台・韓・タイ)。 ○ 森吉山関連の中小零細事業者や地域活動団体等が訪問客に対し体験メニュー案内や特産品販売などを行う「チャレンジショップ」機能を設ける。 ○ 整備施設では、高齢者等インターネット環境にない方に対しても、ジオラマやパネルなどのアナログ的な方法で情報を提供する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
43	現行のまま継続	阿仁合駅舎2階を改修し、エレベーター・冷暖房設備・LED照明の新設、階段の移設、床の防音対策と強度の増強、内壁の断熱機能の付加をするとともに、デジタルサイネージやジオラマ等を整備することで、地域の魅力発信スペースを新設。これにより沿線の観光価値を高め、活性化を図る。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 14	有効性評価 15	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 5

総合評価
44 /45

検証会議による評価
A

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	適
、く	り	ね	い	地	討	切
最大そ	あ	効	そ	ら	が	で
適委の	る	果	の	と	あ	あ
で効と	的	的	と	も	い	効
あ果お	お	お	い	す	る	は
る	適	え	る	る	る	な